

第8節 6日目：2月22日（火）：加治木～鹿児島 晴れ

2022年2月22日（火）晴れ、南九州の旅の6日目は、日豊本線の加治木駅から鹿児島駅までの営業キロ21.0kmに挑戦する。本日は、2月20日（日）の頑張り、営業キロ27.9kmから21.0kmと軽減され、精神的にも肉体的にリラックスして、終日歩くことができた。しかも重いリュックを背負わず、桜島がある風光明媚な海岸線を楽しむことができ、天や神のご加護を強く感じた。また、含蓄ある”先憂後楽”の素晴らしさをひしひしとを感じる一日となった。



※いざ出発、東横イン、鹿児島中央駅



※鹿児島中央駅、竜ヶ水駅界隈の日の出

朝、ホテルでゆっくり朝食をとり、各駅停車で加治木駅までに向かう。通学時間帯のため、沢山の高校生の姿を見かける。竜ヶ水駅で各駅停車の離合、帖佐で特急電車の離合があった。本日は、加治木駅から重富駅までが今回初の路地歩き、重富駅から鹿児島駅までが桜島を鑑賞しながらの歩きとなった。各駅舎の到着時刻は次の通り。

加治木（8:05）～錦江（きんこう、9:07）～帖佐（9:57）～始良（あいら、10:33）
～重富（11:06）～竜ヶ水（13:35）～鹿児島（15:43）



※加治木駅

①加治木駅を種々のアングルで撮影後、錦江駅を目指し出発する。沢山の高校生がこの駅で下車する。8時13分、端山神社で本日の安全を祈願する。8時30分、105歩ある錦江橋（網掛川）を渡る。8時38分、錦江小学校近郊を通過。基本的には鉄道の左側を歩く。それ故、工場などで大きく迂回を余儀なくされる。



※端山神社、加治木駅界限、錦江橋

8時50分、そろそろ錦江駅と思い、地元の人に錦江駅への道筋を教えて頂く。「幹線道に上り、線路を横切る。幹線道路から下りた先にあります」と教えて頂く。しかし、解釈を誤り、幹線道路を300m位進行する。ナビで確認したところ、錦江駅は遠くなっていた。運よく地元の人に再度お伺いする機会を得る。「この道に戻った先にあります」と教えて頂く。300m位戻った先に、先程下った陸橋があり、100m位先に錦江駅があった。9時7分、錦江駅に到着できる。背後にある山が強く印象に残った。結果的には1.7kmの営業キロに62分要す。30分位ロスタイムが生じる。今考えると、踏切が登場し、この踏切を渡れば、錦江駅は一本路であった。苦しい中にも楽しい路地歩きができ、いい思い出になった。



※錦江小学校、この陸橋で方向性を誤る



※錦江駅



※錦江駅、錦江駅界限、帖佐駅への路

②9時17分、国道10号線に合流する。9時30分、万歩計で294歩ある始良橋（別府川）を渡る。9時38分、鹿児島20km、枕崎73kmと記した道路標識前を通過。帖佐駅には9時57分到着。駅前には鹿児島空港行きのバスが停まっていた。鉄道に沿って右側を淡々と歩く。創立112周年の舞島小学校があった。始良駅には10時33分到着。



※帖佐駅



※帖佐駅



※始良駅への路、始良駅



※始良駅

③10時49分、252歩ある思川側道橋（思川）を渡る。前方に重富海岸線が広がる。10時58分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。重富駅には11時6分到着。この駅から少し行った先で石蔵ミュージアムがあり、立ち寄ることにする。10分位滞在し、創業明治2年の白金酒造の焼酎の製造過程を見学させて頂く。いい勉強になった。



思川側道橋、重富駅



※石蔵ミュージアム



※焼酎製造現場

④これから鹿児島までは桜島を鑑賞しながらの歩きとなる。色なアングルから随時デジカメに収める。重富駅から竜ヶ水駅までは営業キロ7kmあり、この距離が本日は特に長く感じた。若干、寒さなどから左足付け根が痛くなったからだろう。しかし、暫く歩くと解消され安堵する。



※桜島を鑑賞しながら進む

11時41分、門司から448km地点に到達。12時3分、白浜神社前を通過。12時25分、平松神社前を通過。所々の山間に民家があった。12時47分、門司まで452km地点に到達。12時51分、大崎ヶ鼻界限に到達。13時2分、枕崎63km、川内60km、指宿56kmと記した道路標識前を通過する。民家が多くなる。13時35分、やっと竜ヶ水駅に到着。営業キロ7kmに約2時間半要する。この駅舎は道路から20m位上がった先にあった。



※平松神社、桜島を背後に



※竜ヶ水駅からの桜島、竜ヶ水駅



※竜ヶ水駅



※竜ヶ水駅

⑤13時40分、第2竜ヶ水踏切を横切り、鉄道の左側となる。14時3分、三船病院前を通過。2台の救急車と対面する。この病院に面して介護施設があった。14時23分、海岸線の向こうに鹿児島市内がうっすら見えて来る。14時31分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。14時40分、観覧車がある鹿児島中央駅が遠くに見えて来る。14時56分、仙巖園前を通過。ここで誤った方向に進行しようとするが、直ぐに誤りだと気づき引き返す。信号待ちも含め、5分位ロスタイムが生じる。



※第2竜ヶ水踏切、竜ヶ水駅界限からの桜島



※遠くに鹿児島市内

15時8分より、全長360mある島越トンネルを通過する。トンネルを通過すると鹿児島市内となる。15時16分、門司から460km地点に到達。15時17分、枕崎56km、川内53km、枕崎41kmと記した標識前を通過。15時29分、戸柱橋を通過。15時43分、2013年4月以来の鹿児島駅が登場する。これで、鹿児島本線と大分からの日豊本線が繋がった。感動の瞬間だった。



※島越トンネルを通過すると鹿児島市内



※鹿児島駅

⑥15時46分、和泉屋町踏切を横切り、鹿児島市電の鹿児島駅に向かう。15時48分、再度鹿児島駅に到着する。駅前には工事中であった。15時50分発の群元行きに乗り、鹿児島中央駅に向かう。懐かしい鹿児島市内の場面が次々と登場する。ホテルには16時14分到着。汗を流した後、昨日訪れた屋台横丁の居酒屋で鹿児島本線と日豊本線の繋がりを祝い、コロナ禍の中ひっそり祝杯をあげる。誰にも発信できず、寂しい思いもしたが、感動の瞬間であった。



※和泉屋町踏切、市電鹿児島駅



※鹿児島駅



市電で鹿児島中央駅へ、そしてホテルへ



※昨日と同様、屋台横丁で祝杯！！

第9節 7日目：2月23日（水）：喜入～指宿 曇り／雨

指宿枕崎線のため記載割愛

第10節 8日目：2月24日（木）：観光&帰宅 晴れ

2022年2月24日（木）晴れ、南九州の旅の最終日は、指宿界隈の観光後、帰宅の旅となった。指宿発の“たまたま箱”2号の発車時刻が10時56分。それまでの約2時位の時間を有効に活用するため、昨日、ホテル支配人古垣さんに「タクシー5,000円位の予算でどこか観光は出来ないか」と相談する。直ぐにタクシー会社に交渉して頂く。それを受け、本日9時、ホテル前でタクシーが来ることになった。詳細なコースは明日タクシーの運転手さんと相談とのことであった。時間を最大限に有効活用する機会が得られ、古垣さんには感謝また感謝で一杯となった。



※いざ帰宅、朝日、田中陽希さんの特集番組

朝風呂にゆっくり浸かり、日の出を見、7時朝食して一休。チェックアウトまでの時間、偶然にも田中陽希さんと火野正平さんの特集番組を観る機会がある。互いにジャンルは異なるが、向いている方向は同じであると強く感じた。ここでも、”人生とは不思議なものですね”を痛感した。



※お世話になりました

8時半頃チェックアウトし、ホテルロビーで寛ぐ。ホテル前で従業員の方に記念写真を撮って頂く。加えて、昨日大変お世話になった古垣さんや岩下さんと一緒にホテル内で記念写真（頭出して掲載済み）を撮って頂く。特に、古垣さんとのひな祭り前の写真は思い出になろう。9時、タクシーが来るや否や、古垣さんと岩下さんがタクシーまで来られ、心温まる送迎を受ける。ここでも感謝の気持ちで一杯となった。同時に一期一会を強く感じた。



※西大山駅



※西大山駅

タクシーに乗るや否や、本日の行程について相談がある。「約1時間半しかないので、遠くまでは行けない。池田湖や長崎鼻は90分では難しい。日本最南端駅がある西大山駅まで行き、帰り道、西郷どんゆかりの地”鰻温泉”を經由して、指宿駅に戻るコースで臨みます。それで宜しいですか」。「OKです宜しくお願いします」と申し上げる。

タクシー会社は偶然にも、霧島神宮参拝の時と同じ社名（第一交通グループ）であった。運転手さん（鶴田さん）と色々世間話をしながら、道中、時間を有効に使う。60歳手前で、運転手の中で若いとのことであった。「指宿は宮崎より温かい。生まれて、数度しか積雪は体験していません」との会話もあり。運転手さんの出身地は、かつて鉄道があった鹿児島交通枕崎線（伊集院～枕崎）の沿線とのことであった。途中、長崎鼻界限で、「ここを選択したら90分では間に合わない恐れがあります」に対し、「了解」と応答。無論道中、私の方からもウォーキングの自慢話もさせて頂く。



※西郷どん縁の地



※西郷隆盛像

そんな話をしながら、次のような行程での観光となる。

指宿シーサイドホテル（9:00）～日本最南端の駅（西大山駅、9:23）～西郷どん縁の地（9:43）～日本最南端の有人駅（山川駅、9:57）～指宿駅（10:08）



日本最南端の有人駅（山川駅）

10時56分発の“たまたま箱”2号に乗り、鹿児島中央駅でさくら556号乗車、博多駅で“のぞみ”36号を乗り継いで帰宅の途につく。新幹線内にて指宿シーサイドホテルで購入した焼酎飲み比べで祝杯をあげる。指宿から新横浜まで約8時間、不思議なことにあまり長時間とは感じなかった。今回の旅も概ね天気に恵まれ、想定した駅舎を全て立ち寄りに成功する。天や神、そして地元の人などに感謝の気持ちで一杯となった。この場をお借りして、厚く熱く御礼申し上げます。



※指宿駅



※たまたま箱



※鹿児島中央駅



※鹿児島中央駅、博多駅



※のぞみ号で飲み比べ薩摩芋焼酎で祝杯！！

1週間後の3月10日（木）から始まる7泊8日の日豊本線の仕上げ旅（大分～小倉）が待ち遠しい。どこまでも続く鉄道よ、旅はいいものですね。